

第1学年1組 美術科学習指導案

平成29年11月28日(火)
第5校時目
場所 1階美術室
指導者 井上 暢之

1 題材名 シャガールの世界を散歩してみよう

2 題材設定について

(1) 生徒の実態

1学年の生徒は全教科において、意欲的であり、素直な生徒が多い。美術の授業においても大変積極的である。特に本学級の生徒は発想が豊かで、自分なりのイメージを持ち、楽しみながら表現活動に取り組むことができる。1学期にモネの「積みわら」の鑑賞を行った際も、初めての鑑賞ながら自分の思った事を活発に発言できる生徒が多くいた。しかし、自分の意見を人前で発表することが苦手な生徒もいるのも事実である。

前年度に行った美術科のアンケートでは、「あなたは鑑賞活動が好きですか」生徒は現2年生 81%、現3年生 91%、現高校1年生は90%であった。昨年、現2年生が他学年と比べ低いのは、鑑賞活動の回数が少なかったことが原因と考える。この数字からも改めて鑑賞活動の重要性を感じる。

生徒の実態として、人間関係において思春期特有の様々な不安や課題を抱えている生徒も少なくない。2学期になり、学校や友達にも慣れてきたせいか、個性や考え方の違いから、学級や部活動内での友人関係でのトラブルもある。自分の考え方、友達の考え方が違うからこそ面白い意見や新しい考え方が生まれることに、まだ気づけない生徒が多くいる。しかし、生徒は誰しも本来自分の思いをみんなに伝えたい、自分の考えを聞いてもらいたい、認めてもらいたいという願いをもっているはずである。

生徒相互のより豊かな人間関係を築きながら、鑑賞への苦手意識を払拭できるような活動を行ないたい。そのためには、自由に自分の思いや感じた事を言い合えるような雰囲気を作りながら、「対話による美術鑑賞」の考え方を参考とした授業を展開したい。

(2) 題材を指導するに当たって

本題材では、マルク・シャガール(1887年—1985年)の「二つの花束」という作品を扱う。

シャガールは幻想的で、まるで、夢の中のような世界を多く描いた。しかし、シャガールはこんな言葉を残している「私を幻想的と呼ぶなでほしい。反対に私はレアリストなのだ。私は大地を愛している。」と。シャガールは、自分の見たこと、体験したこと、感じたことを大切に、自分でつくった決まりに従って自由に作品を描いた画家だ。だからこそ、他の人にはまねできない世界をつくることができたのだろう。

どこまでも続く塀、動物たち、昼なのか夜なのか分からない町の景色、二つの花束…この作品にはたくさんのシャガールの思いが詰まっている。特に題名でもある二つの花束には、シャガールの妻や娘に対する愛情の意味が込められている。生徒たちは、象徴・比喩表現などに理解を示し、作品を深く掘り下げて考えることができるようになる年代であり、作品を様々な視点から分析的に見て解釈することができるようになってくる。

生徒たちとこの絵の中を散歩しながら、見ることの楽しさや、発見することの面白さに気づき、一枚の絵から想像力を働かせ、作者の思いに近づいていけるような鑑賞にしたい。

また、「主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた美術科の指導」を研究テーマとし、本時の授業は「対話による美術鑑賞」の形式を参考に展開していく。生徒の実態にも記したように、北部には美術館がなく、本物の絵画と触れ合う事は少ない。しかし、生徒たちがこれからの人生で、日本や諸外国の美術館を訪れたとき、生活の中にある美術を発見したときに、作品を通して自己と対話ができるようになってほしい。知識や解釈に効率よく導いていこうとしたり、ただ答え合わせのような授業になったりしてしまうと、美術が苦手・わからないとなってしまう。このような事は避けたい。「対話による美術鑑賞」を通して、生徒の思いを引き出し、一人ひとりの鑑賞の在り方をみつめながら、個々の見方や価値意識を高め、クラス全体で作品の事について語り合い作品に興味を作り上げていきたい。そして、ただ作品そのものを理解するだけではなく、この作品を通じてお互いを理解し合い学級のより良い人間関係づくりに役立てられるような授業を展開したい。

3 学習指導要領上の位置づけ

B 鑑賞

(1) 美術作品などのよさや美しさを感じ取り味わう活動を通して、鑑賞に関する次の事項を指導する。

- ア 造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫、美と機能の調和、生活における美術の働きなどを感じ取り、作品などに対する思いや考えを説明し合うなどして、対象の見方や感じ方を広げること。
- イ 身近な地域や日本及び諸外国の美術の文化遺産などを鑑賞し、そのよさや美しさなどを感じ取り美術文化に対する関心を高めること。

[共通事項]

(1) 「A 表現」及び「B 鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。

- ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解すること。
- イ 形や色彩の特徴などを基に、対象のイメージをとらえること。

4 目標及び評価規準

(1) 目標

シャガールの作品を通してよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品などに対する思いや考えを説明し合うなどして、対象の見方や感じ方を広げる。また、身近な地域の作品（埼玉県立近代美術館所蔵）を鑑賞し、そのよさや美しさなどを感じ取り美術文化に対する関心を高める。

(2) 評価規準

美術への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
関 シャガールの作品のよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫、に関心を持って主体的に感じ取り、作品などに対する思いや考えを説明し合うなどして対象の見方や感じ方を広げようとしている。	鑑 シャガールの作品のよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品などに対する思いや考えを説明し合うなどして、対象の見方や感じ方を広げようとしている。また、埼玉県の美術館にある作品を鑑賞し、そのよさや美しさなどを感じ取り美術文化に対する関心を高めようとしている。

5 指導計画（1時間扱い） 本時1／1時

6 本時の学習

(1) 目標 ① シャガールの世界を散歩するように観察し、たくさんの発見をしよう。

② グループで鑑賞し合い、自分の考えを深めよう。

(2) 準備 教師：作品レプリカ（作者：マルク・シャガール 作品：「二つの花」）・ワークシート

クリップボード・ホワイトボード・マーカー・作品資料

生徒：筆記用具

(2) 展開

過程時間	学習活動 [○:学習のねらい] [・:学習活動]	指導上の留意点 （〔共〕:〔共通事項に係る内容〕）	評価と手立て [◎:十分満足できる状況] [◆:C判断生徒への手立て]
導入 知る 10分	○本時の学習の見通しをもつ ・本時の目標、鑑賞のルールの再確認 ○1 シャガールの作品と出会う 全員で鑑賞 ・画家：シャガールについて知る ・4枚の作品からシャガールの作品を探す ①  ②  ③  ④  ・他の作品と比較し、シャガールの独特な表現方法について関心を持つ。	鑑賞が円滑に行われるよう前時の鑑賞ルールをもう一度ふりかえさせる。 1・隅々までじっくり観よう 2・想像力を働かせよう 3・自分の見方や感じ方を大切にしよう 4・他の人の発言もしっかり聞こう 難しく考えさせるのではなく楽しい雰囲気での鑑賞に取り組めるようにする。 〔共〕4枚の作品のタッチや形や色彩、絵全体のイメージの違いに気づくことができるようにする。 シャガールの作品としっかり向き合う事を大切にしたため、情報量は最小限にとどめる。	◎発言したり、ワークシートを記述する様子から主体的に理解を深めようとしている。 ◆まず関心や意欲が持てない生徒から見取り、意欲が高まるよう指導する。

展開 見る・感じる 10分	○2 《二つの花束》との出会い1 クラス全員で鑑賞  ○作品をじっくり鑑賞する。(30秒) ○鑑賞した中で気づいたことを伝え合う。 ・教師や友達との対話を通して自分や作品に対する感じ方を深めていく。	複製画を提示する。 生徒を前に集める。 作品の第一印象をナビゲーション、リレーションを通して鑑賞活動を展開していく。 ・作品を見て気がついたことを話してください。 感性を働かせて、作品を見ている生徒の発言を受け止め見方を広げる。 ※ナビゲーション… 質問・指示・説明 ※リレーション… 支援・奨励	◆授業中は記録のための評価ではなく、より適切な指導をするための評価が中心となる。そのため、ワークシートの記述や話し合いの内容から、鑑賞が深まっていない視点等について個々の生徒や、クラス全体に助言をする。
話し合う 10分	○3 《二つの花束》との出会い2 グループで鑑賞 ○「二つの花束」の中からテーマを決めてグループで鑑賞しよう テーマ1：シャガールはなぜ頭に花をのせているのか？ テーマ2：花束の色は何を表現しているのだろう？ テーマ3：塀の外はどんな世界？ ・形・色彩・イメージから、自分の考えをワークシートにメモする ・メモをもとにグループで話し合う。 (3～4人グループで話し合う) ・グループで対話し、テーマごとの視点でまとめる。	〔共〕発想が広がるよう、描かれているものの形・色彩・イメージなどを手掛かりにし作者の心情を感じ取る。 グループでの対話を通して自分の感じ方違いやよさを共有しイメージを広げる。 作品に対する思いや考えを説明し合うことで、豊かな言語活動の充実をはかる。	◎グループでの対話を通して自分の感じ方や他者との違いを共有することができる。発言したり、ワークシートを記述する様子から主体的に理解を深めようとしている。 ◆考える手立てがわからない生徒に対しては、話をしていく中で自分なりの考えを発想させる。
深める 10分	○4 《二つの花束》との出会い3 全員で鑑賞 ○グループごとに発表し意見を聞き合いながら作品についての考えを深めていく。 ・シャガールの家族の写真や、実際に頭に花を乗せてみることで、この作品がシャガールの人生を表現していることに気づかせる。	作品に対する思いや考えを説明し合うことで、豊かな言語活動の充実をはかる。	◎グループごとの発表を聞くことで新しい価値観や他者との違いに気づくことができ作品を深く鑑賞することができる。 ◆他のグループの意見を聞くことで、いろいろな考え方があっていいことに気づかせる。

まとめ 10分	○5 自分を見つめる 振り返る・自分の考えを持つ ○クラス全員での鑑賞、グループでの鑑賞を通して得た自分自身の思いや考えを整理する。 ・これからの自分について考えを深める。 ・友達の鑑賞を聞く。	第一印象と授業を終えての作品の見方の違いに気づかせる。 鑑賞の授業、他者との交流を通して対象の見方や感じ方を広げる。 思いや感じた事を共有する。	◎ワークシートの記入の文章の量と内容の両方で評価を総括する。新しい価値観を発見することができる。
-----------------------	---	---	---

7 備考

(1) 板書計画

鑑賞	シャガールの世界を散歩してみよう！	シャガール	花束	世界																											
本時の目標	鑑賞のルール 1・隅々までじっくり観よう 2・想像力を働かせよう 3・自分の見方や感じ方を大切にしよう 4・他の人の発言もしっかり聞こう	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="height: 40px;"></td><td style="height: 40px;"></td><td style="height: 40px;"></td></tr> <tr><td style="height: 40px;"></td><td style="height: 40px;"></td><td style="height: 40px;"></td></tr> <tr><td style="height: 40px;"></td><td style="height: 40px;"></td><td style="height: 40px;"></td></tr> </table>										<table border="1" style="width: 100%; height: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="height: 40px;"></td><td style="height: 40px;"></td><td style="height: 40px;"></td></tr> <tr><td style="height: 40px;"></td><td style="height: 40px;"></td><td style="height: 40px;"></td></tr> <tr><td style="height: 40px;"></td><td style="height: 40px;"></td><td style="height: 40px;"></td></tr> </table>										<table border="1" style="width: 100%; height: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="height: 40px;"></td><td style="height: 40px;"></td><td style="height: 40px;"></td></tr> <tr><td style="height: 40px;"></td><td style="height: 40px;"></td><td style="height: 40px;"></td></tr> <tr><td style="height: 40px;"></td><td style="height: 40px;"></td><td style="height: 40px;"></td></tr> </table>									
シャガールを探せ    																															